

平成21年度に事後評価を行った強い水産業づくり交付金事業一覧

整理番号	実施年度	政策目標	事業主体	事業内容
17-1	平成17年度	経営構造改善目標	伊勢湾漁協	船揚げ施設
17-2	平成17年度	経営構造改善目標	志摩市	つきいそ
17-3	平成17年度	経営構造改善目標	志摩の国漁協	餌料保管庫
17-4	平成17年度	経営構造改善目標	紀北町	つきいそ
17-5	平成17年度	漁村地域の活性化目標	鳥羽市	船舶離発着施設
17-6	平成16年度（繰越） 平成17年度	漁村地域の活性化目標	尾鷲市	深層水等利活用施設

平成17年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	17-1	三重県
メニューの内容	漁船保全修理施設	(施設名) 船揚げ施設
事業実施主体	伊勢湾漁業協同組合(旧二見町漁業協同組合)	
評価期間	平成17年度～20年度	
事業費	19,530 千円	
交付金額	7,440 千円	
成果目標	3年間の総便益	9,469 円
実績値	3年間の総便益	6,761 円
成果目標の達成率	71.4 %	
事業の目的	<p>今一色地区に船揚げ施設を新設し、営漁経費の節減を図るとともに、組合員の利便性を改善する。</p> <p>軌条(2条)、ウィンチ(一式)、台車(2台)、機械室(17.8㎡)、高圧洗浄機(一式)</p>	
事業の成果	<p>当該施設整備により、上架経費の節減と組合員の利便性が改善された。</p> <p>アサリ資源減少の影響で一時休漁する組合員が出る等し、稼働する漁船が減少したことで施設利用実績が計画に満たなかった。</p>	
その他特筆すべき事項		
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策		
備考	<p>資源管理の取り組みを強化し、アサリ資源を回復させることで休漁中の組合員の復職を図る。また、隻数の多い船外機船の利用料を見直し、施設を利用しやすくして利用回数の増加を図る。</p>	

平成17年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	17-2	三重県	
メニューの内容	つきいそ	(施設名)	つきいそ
事業実施主体	志摩市		
評価期間	平成17年度～20年度		
事業費	5,000	千円	
交付金額	3,333	千円	
成果目標	3年間の総便益	1,208	千円
実績値	3年間の総便益	1,216	千円
成果目標の達成率	100.7	%	
事業の目的	つきいそ漁場(自然石 1t内外 1,018 m ³)を整備し、水揚げ増を図る 対象魚種 アワビ、サザエ、イセエビ、ナマコ		
事業の成果	成果目標は達成されている。 各年度の漁獲は安定しており、計画に近い年間便益が実現されている。 施設は地区漁業者に利用され、種苗放流漁場としても活用されている。		
その他特筆すべき事項	特になし		
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策			
備考			

平成17年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	17-3	三重県	
メニューの内容	水産鮮度保持施設	(施設名)	餌料保管庫
事業実施主体	志摩の国漁業協同組合		
評価期間	平成17年度～20年度		
事業費	62,234	千円	
交付金額	32,598	千円	
成果目標	3年間の総便益	19,710	円
実績値	3年間の総便益	14,370	円
成果目標の達成率	72.9	%	
事業の目的	安乗地区に餌料保管施設(鉄骨プレハブ造1階建)を整備することにより、漁業者の労務負担の削減及び出庫時の労務人員の削減を図る。		
事業の成果	当該施設整備により、漁業者の労務負担の削減が図れた。また、フォークリフトでの作業が可能のため、出庫時の労務人員の削減にもつながった。		
その他特筆すべき事項	特になし		
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策			
備考	受益漁業種類のうち、フグ延縄については実績が計画を上回った。サバー本釣りは不漁(特にH20年度)により出漁機会が減少し、達成率を引き下げる原因となった。サバ資源の動向に注視し、必要に応じ漁獲管理を強化したい。		

平成17年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	17-4	三重県	
メニューの内容	つきいそ	(施設名)	つきいそ
事業実施主体	紀北町		
評価期間	平成17年度～20年度		
事業費	7,000	千円	
交付金額	4,666	千円	
成果目標	3年間の総便益	1,506	千円
実績値	3年間の総便益	1,416	千円
成果目標の達成率	94.0	%	
事業の目的	つきいそ漁場(自然石 1t内外 1,450 m ³)を整備し、水揚げ増を図る 対象魚種 イセエビ		
事業の成果	成果目標はほぼ達成されている。 各年度の漁獲は安定しており、計画に近い年間便益が実現されている。 施設は地区漁業者に利用され、事業の効果が出ていると考えられる。		
その他特筆すべき事項	特になし		
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策			
備考	イセエビ資源の持続的利用を図るため漁獲管理を指導する。		

平成17年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	17-5	三重県	
メニューの内容	美化・利用整序促進施設	(施設名)	船舶離発着施設
事業実施主体	鳥羽磯部漁業協同組合		
評価期間	平成17年度～20年度		
事業費	33,380	千円	
交付金額	16,689	千円	
成果目標	3年間の総便益	5,595	円
実績値	3年間の総便益	79,619	円
成果目標の達成率	1423.0	%	
事業の目的	<p>答志地区(離島)の市営定期船乗り場に船舶離発着施設(待合所, 乗船券販売所, トイレ, 貨物一時保管所)を整備する。 当該施設の整備により, 定期船利用者の利便性等が向上し, 観光客増加による経済効果が期待される。</p>		
事業の成果	<p>当該施設整備に加え, 遊歩道整備や地域の様々な取り組みが効果を発揮したことで, 当該事業については目標値を大きく上回る成果が得られた。</p>		
その他特筆すべき事項	特になし		
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策			
備考			

平成17年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	17-6	三重県	
メニューの内容	漁港高度利用促進対策事業	(施設名)	深層水等利活用施設
事業実施主体	尾鷲市		
評価期間	平成17年度～20年度		
事業費	2,299,010	千円	
交付金額	1,149,505	千円	
成果目標	3年間の総便益	250,089	円
実績値	3年間の総便益	183,852	円
成果目標の達成率	73.5	%	
事業の目的	海洋深層水の取水供給施設を整備し、三重県尾鷲栽培漁業センターにおける飼育水への利用や水産加工への利用に供する。		
事業の成果	三重県尾鷲栽培センターにおいては、深層水の利用により種苗生産コストの削減が図られた。また、漁船の魚艙や活魚運搬などへの利用により、温度管理と鮮度保持に係るコストダウンが可能となった。水産加工に関しては深層水利用商品の差別化が定着しつつあり、需要拡大や雇用拡大が期待される。		
その他特筆すべき事項	特になし		
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策			
備考			